



# 2022年度 中野ハイティーン会議 報告書

# 【目次】

## 【第1章】ハイティーン会議とは？

1.これまでのハイティーン会議

2.2022年度のコンセプト

①ハイティーン会議全体の流れ

②若者とハイティーンとのタッグ

3.参加者

4.本年度の実施内容

①8月回(フィールドワーク)

②9月回(チャレンジ表明)

③10月回(中間発表)

④11月回(チャレンジ活動)

⑤12月報告会

## 【第2章】チャレンジ詳報

1.学び舎を作る

2.犬&飼い主交流

3.中野駅を明るく

4.区外の人にも自慢できる中野に

5.子どもから大人まで自由に話せる場

6.中野の交通マナー

7.中野の魅力発信

8.中野の美味しいPVをつくる

## 【第3章】感想

1.参加したハイティーン感想

2.メンターを務めた若者の感想

3.報告会を聞いた地域の方の感想

会場はこちら！



# 第1章

## ハイティーン会議とは？

# 1.これまでのハイティーン会議

ハイティーン会議とは、  
中野区在住・在学・在勤の中高生年代が、学校や学年を  
超えて特定のテーマについて議論や調査を行い、  
意見表明に繋げていくワークショップです。

2021年度(第19回)までは、中野区直営により実施されて  
いました。

中野区ならではの「ハイティーン会議」にはこんな魅力があります！



- 身近な疑問を調べます！  
参加したメンバーの中で話し合い、興味がある・気になるテーマをメンバーが自分たちで決定します。議論は活発に進むときもあれば、話し合いに悩むこともあります。時間の許す限り何度も議論し、納得するまで話し合うことで、メンバーたちが自分ならではの意見を持つようになります。



- さまざまなメンバーが集まり、つながりができます！  
区内在住・在学・在勤の中高生年代が集まって活動をしていきます。中高生だけではなく、大学生や社会人から構成されるサポーターとの交流もあり、多くの人との出会いがあります。また、お互いの学校の話や趣味の話をしなが、わいわい活動する様子も見られました。



- 専門機関に取材を行います！  
話し合いを進めていく中で、専門機関に取材を行い、固まった考えに対して意見をもらいます。普段の生活ではなかなか聞けない、貴重なお話を聞くことができます。(2021年の取材先は12ページに記載されています。)

**※資料は2021年度の実施報告書より抜粋**

## ハイティーン会議の概要

### 1. ハイティーン会議ってどんな会議？

中野区に在住・在学・在勤している中学生・高校生年代が、毎日の生活のなかで気になっていることや疑問に思うことからテーマを決め、さまざまな学年・学校の生徒が集まってワークショップ形式での話し合いや、テーマに沿った専門・関係機関への取材などを行いながら考えを深めて中高生ならではの意見表明につなげていく事業です。

2021年度で19回を迎え、28名の中高生が5回のワークショップを通して話し合いをしてきました。



活動報告として、  
ワークショップを終えた後に  
報告会でまとめた意見を発表します！

グループ名		内容
1	学校グループ	校則を変えるにはどうすればいいの？校則ってどうあるといいのだろう？
2		よく「〇〇らしさ」っていうけど、それって何？誰が決めているのかな？
3	ジェンダーグループ	少数派の方たちが生きやすい世の中になるにはどうしたらいいの？自分たちに出来ることは何だろう？
4	AIグループ	AIと共に生きていくとはどういうことだろう？AIが自分達の生活にどう関わってくるの？
5	環境問題グループ	環境、とくに地球温暖化について、中高生達が出来るアクションって何だろう？

## 2.2022年度のコンセプト

「中野」に根付いた  
中高生の探究・チャレンジ  
×  
ハイティーン目線での中野を  
「中野区」にしっかりと伝える報告会



「理想のなかの」を考え、行動する  
「新」ハイティーン会議へ。

## 2.2022年度のコンセプト

中野区 × NPOカタリバ

+

ハイティーン会議 × 若者会議

- ・NPOカタリバがプログラム運営を受託
- ・2022年度に新設された「若者会議」と連動し、より多世代、より地域に密着した会議へ

※若者会議…区内在住・在学・在勤の若者(18-39歳)を対象に、若者の意見を地域に届ける仕組みを 検討するワークショップ

# ハイティーン会議全体の流れ

## ①「理想のなかの」を検討

↳ひとりひとりが、自分の興味関心を軸に、「こうしたらもっと中野が良くなる」「中野の●●な魅力をもっと伸ばしたい」など理想を検討！

## ②「チャレンジ」を策定

↳「理想のなかの」の実現に向けて、実際の行動目標を立てる。「まずは●●イベントを自分でやってみる」「オリジナルハッシュタグを考え、SNSで広報キャンペーンをやってみる」など

## ③チャレンジ達成に向けた活動

↳自分でチャレンジを立てるハイティーンだけでなく、他のハイティーンが立ち上げたチャレンジに参加して、アシストするハイティーンも。

## ④区長、教育長などへの報告会

↳行動を伴った学びの報告・意見表明により、従来以上に「10代の声」を届けられる、特別な1日に！

# ハイティーンと若者のタッグ

若者会議参加者が「メンター」として、ハイティーンのチャレンジをサポートしました。中高生2-4人程度のグループに、若者1-2人程度が入り、日々アイデアを交換しました！

ハイティーン



若者

①「理想のなかの」を検討

- ・意見の引き出し
- ・感じていることを言語化するサポート

②「チャレンジ」を策定

- ・議論のファシリテーション
- ・オンラインMTGの調整
- ・チャレンジ発展へのアイデア出し
- ・協力してくれる地域の大人を紹介

③チャレンジ達成に向けた活動

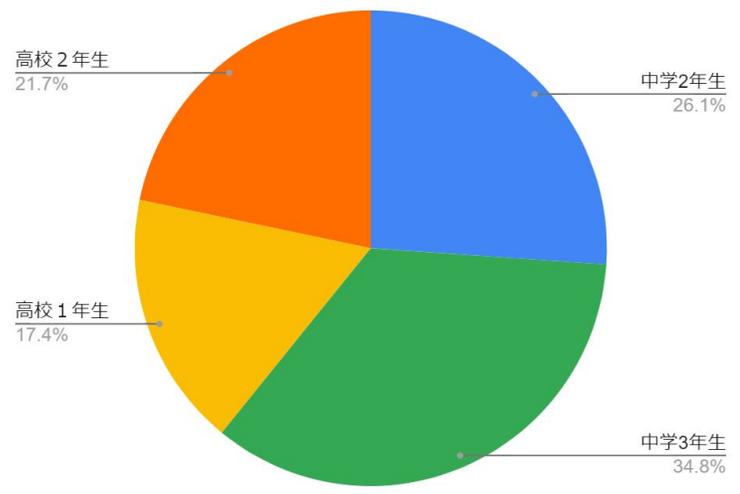
- ・発表の構成検討
- ・資料作成サポート

④区長、教育長などへの報告会

# 3.参加者

今年度ハイティーン会議参加者は  
**合計23人**でした。

**内訳**  
 中学2年 6人  
 中学3年 8人  
 高校1年 4人  
 高校2年 5人



**オリエンテーションDAY**  
**2022.8.28 [SUN] 14:00-18:00**

中野区・高校1・2年生が、学校の学年の枠も超えて活躍する「ハイティーン会議」の新メンバーを募集します。自由な意見交換やフィールドワークを通して、これからの「未来のなかめ」について話し合います。

開催日 9月18日(日) / 10月16日(日) / 11月20日(日) / 12月18日(日)

会場 中野区 協賛NPO法人カタリバ  
 中野区役所 子ど6教育館 青年活動体験館  
 青年活動体験館  
 TEL 03-2220-5548  
 MAIL [hateen@catariba.or.jp](mailto:hateen@catariba.or.jp)

詳細、お申し込みは中野区公式ホームページから  
 中野 ハイティーン会議 検索  
<https://www.city.tokyo-naikano.lg.jp/dept/247000/d001447.html>

## 4.本年度の実施内容

8/28	キックオフ・フィールドワーク
9/18	「チャレンジ」表明
10/16	チャレンジ中間報告
11/20	チャレンジ活動時間 ※「子どもの権利の日フォーラム」参加
12/17	報告会前日準備
12/18	報告会！

年末の報告会をゴールに、月に1回、ハイティーンと若者が集い、自分たちの「理想のなかの」について議論・アクションを行いました。



# 実施内容

## #1 キックオフ・フィールドワーク(8月)①

お互いに初対面の第1回。

- ・学校、学年を超えた仲間と知り合う
- ・若者と出会い、地域の大人を身近に感じる
- ・「今まで知らなかった中野」に気づく

を目的に、ハイティーン・若者混成チームで、中野駅周辺エリアへのフィールドワークを実施。感じたことを言語化するワークも行いました。

内容	時間	詳細
アイスブレイク・自己紹介	30分	5人程度でグループになり、自己紹介ワーク
ハイティーン会議の説明	10分	今後の流れなどをアナウンス
フィールドワーク	60分	若者の案内で、中野区の色んなエリアを散策
フィールドワーク振り返り	40分	街で撮影した写真を貼りながら、模造紙に中野を表現
「チャレンジの種」発見ワーク	15分	街で感じたことと、自分の興味関心を組み合わせ、チャレンジのテーマを考える
若者のチャレンジ発表	50分	若者だったらどんなチャレンジをしたいか？を聞いて、自分のチャレンジの種を発展させる

【日時】8/28 14時～18時  
【場所】中野区役所



# 実施内容

## #1 キックオフ・フィールドワーク(8月)③

フィールドワークは、中野区役所を発着点に、  
①中野四季の森公園周辺 ②中野ブロードウェイ周辺  
③レンガ坂周辺 ④なかのZERO周辺  
の4チームで実施しました。

区役所に戻ってからオリジナルの地図を作成するため、街の様々なところを観察。記録のため、写真もたくさん撮っていきます。

見慣れた街にも、知らないことがたくさんありました。



# 実施内容

## #1 キックオフ・フィールドワーク(8月)④

### ・興奮・おもしろくした場所、こと/その理由

- ・中野ゼロホール  
(美術ギャラリーがあった) (180人入るプラネタリウム)  
(ティーン? ネパールの「女性の日」が面白くて  
ドレスがきれいだった)
- ・中野の工芸品(?) のようなものがあつた場所  
(始めて知った) (良い感じが古い建物)

### ・あまり気に入らなかった場所、こと/その理由

- ・ゼロホールと近くの公園の間の道 (鳥のふんが多かった)
- ・中野駿河周辺 (腐卵臭? でした)
- ・ゼロホールに向かう途中の道が狭かった  
(車道を歩いてよいのか? が分からず)
- ・なにか汚いところが多い? イメージ

### ・また行きたいと思った場所、こと/その理由

中野ゼロホール

- ・プラネタリウムに行きたい  
(好きな声優さんが朗読をしていた)
- 教会 (教会なのに和の雰囲気だった)

### ・今日までに元々持っていた中野区への気持ち(興味関心、疑問や違和感、もっと良くしたいことなどなんでもOK)

元々興味はそこまでなかった。知っていることが少なかった

今日行ってみて

- ・古き良き建物がところどころにあった
- ・再開発が進んでいる

### ・他の人の発表を聞いて感じたことメモ

- ・良いところも多く、良いも悪くもゴチャゴチャしてる
- ・利便性を考えた上で再開発も良いと思うが、古き良き建物は残していければよいと感じた。

▲ワークシートを使って、街で感じたことを言語化しました。

# 実施内容

## #1 キックオフ・フィールドワーク(8月)⑤

- 興奮・わくわくした場所、こと/その理由  
中野区産業会館/中野の伝統工芸があり、その中にきれいなガラスがあたから、都心にも伝統工芸があるのだとわくわくした。
- あまり気に入らなかった場所、こと/その理由  
高層ビル及び広場の近くに、少し古いビルがあったこと。/もしも広場ができた時に、景観が失われてしまうと思ったため。
- また行きたいと思った場所、こと/その理由  
高層ビル、/中野は都府が再開発されており、その未来がどうなるのかを見届けたいから。

• 今日までに元々持っていた中野区への気持ち(興味関心、疑問や違和感、もっと良くしたいことなどなんでもOK)  
開発が進んでいるが、昔のものも多く残っており、景観が少し損なわれていると感じた。郊外に出ると、家の見た目も少し古く見えたので、景観の統一が重要だと思った。

• 他の人の発表を聞いて感じたことメモ  
**みんな意外と自分と似たことを感じているのだなと感じた。**

▲ワークシートを使って、街で感じたことを言語化しました。

# 実施内容

## #1 キックオフ・フィールドワーク(8月)⑥

- ① 興奮・おもしろくした場所、こと/その理由  
 中野駅周辺の開発が進んでいた  
 3年後、10年後の中野の街がどうなるか  
 楽しみたがると思われた。
- ② あまり気に入らなかった場所、こと/その理由  
 裏にある道が狭かった、危険だと思われた。  
 街灯があまりない感じがした、夜歩く時は気がおそれる  
 必要があると思われた。
- ③ また行きたいと思った場所、こと/その理由  
 センทรัลパークがなくて、小さい子どもや犬の遊び場  
 なども良い役割をしていると思われた。  
 多々あった、(平日)友達と中野に来るのもいい感じ  
 と思われた。

- ・ 今日までに元々持っていた中野区への気持ち(興味関心、疑問や違和感、もっと良くしたいことなどなんでもOK)  
 中野のイメージとして昔人エムとか、居酒屋エムとか  
 多いイメージが可憐に出てると思ってる、それ以外  
 人々イメージも新たに増えるよりはいい街にしたいと思ってる!!

- ・ 他の人の発表を聞いて感じたことメモ  
 自転車が裏路地が多くなって、歩道に多い。

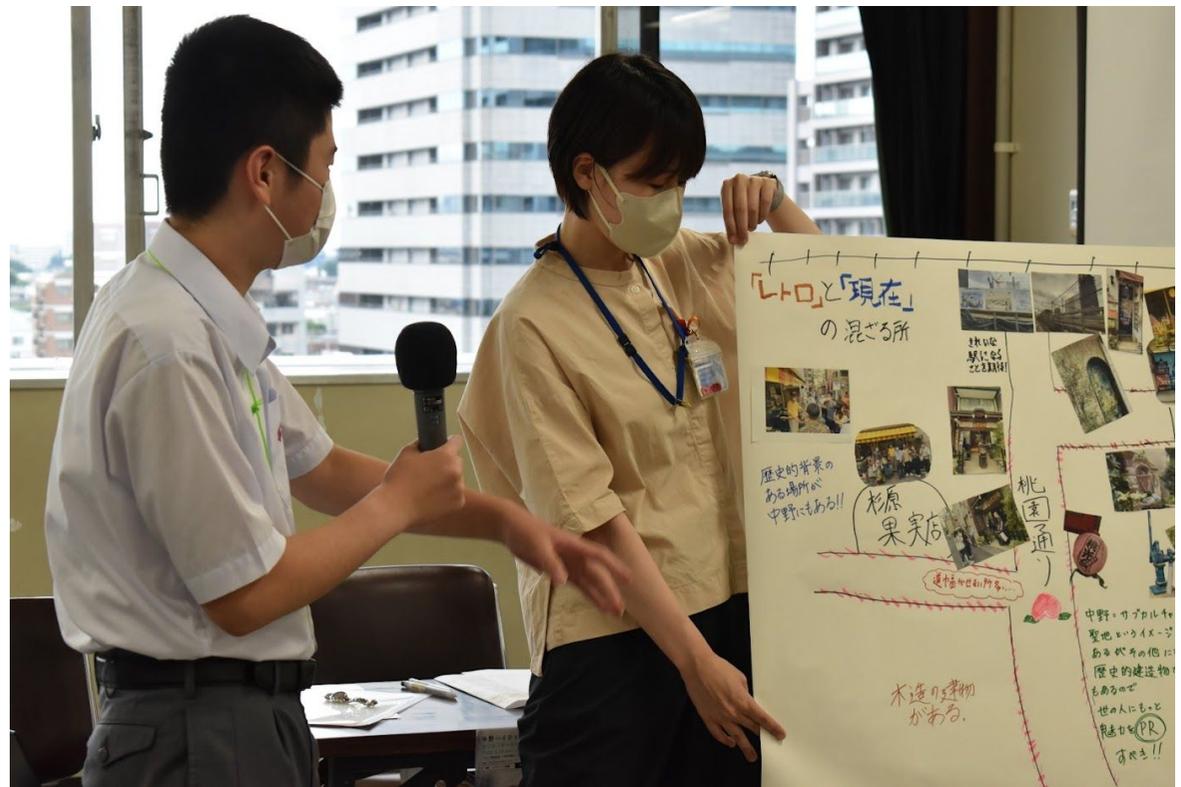
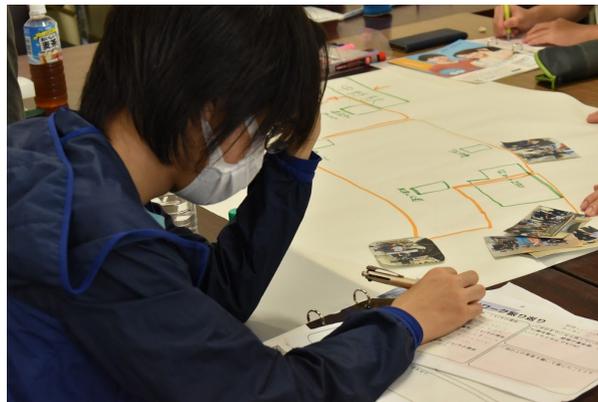
▲ワークシートを使って、街で感じたことを言語化しました。

# 実施内容

## #1 キックオフ・フィールドワーク(8月)⑦

区役所に帰ってきたら、面白かったスポットや感じたことを模造紙にまとめます。一緒に歩いたメンバーで「結構緑があったのが意外だったな」「この写真よく撮れた！」と盛り上がりながら、頑張って仕上げました。

そして中野のことをより知った後は、自分が挑戦してみたい「チャレンジの種」を考えるワーク。みんな悩みました！



# 実施内容

## #2 「チャレンジ」表明(9月)①

中野への気付きと自分自身の興味関心をクロスさせて、ハイティーンが具体的なチャレンジを表明しました。結果、23人は8つのチャレンジに分かれて活動に臨むことに決定。メンバーで顔合わせをして、まず取り組むアクションを具体化しました。

内容	時間	内容
アイスブレイク	10分	1か月ぶりの緊張をほぐす！
「チャレンジ」の形を考える	15分	アンケートでテーマを深堀る？イベントを実施する？ものづくり？
「チャレンジリーダー」決め	10分	先月のアイデア出しを踏まえて、「自分でチャレンジを立ち上げるかどうか」を決定。
チャレンジ発表	40分	出そろったチャレンジを順番に発表！
入りたいチャレンジ検討	15分	自分ではチャレンジを立ち上げなかった中高生や若者が、どのチャレンジに参加して一緒に活動するかを悩む時間。
チャレンジ顔合わせ	20分	チャレンジのメンバーが確定！顔合わせと、さっそく何から動くかを話し合い。

【日時】9/18 14時～16時  
【場所】中野区役所





# 実施内容

## #2 「チャレンジ」表明(9月)③

出そろったチャレンジは、  
学び舎を作る / 中野駅を明るく / 区外の人にも自慢できる中野に / ドッグラン / 子どもから大人まで自由に話せる場 / 中野の交通 / 中野の魅力を発信 / 中野のPV制作の8つでした。  
それぞれの活動は第2章で詳報します。



今回はゲストもお呼びし、チャレンジ検討のお手伝いをさせていただきました。



中野区  
子どもの権利擁護推進審議会  
相川梓さん



尼崎市立ユース交流センター一長  
片岡一樹さん



なかなかの 代表  
伊藤隼平さん

# 実施内容

## #3 チャレンジ中間発表(10月)①

全体の折り返し地点となった第3回ハイティーン会議。

- ①中間発表に向けてチャレンジの動きが加速する
- ②他のチャレンジの状況を聞き、刺激やアイデアをもらう
- ③自由時間を活用して活動を深めつつ関係性も構築していくことをゴールに、各チャレンジはそれぞれの現状を中間発表。

その後は活動に向けたプラン作り・イベント内容作り・アンケート作成など精力的に活動しました。

【日時】10/16 14時～16時

【場所】中野区立教育センター

内容	時間	詳細
チャレンジ進捗中間発表	30分	各チャレンジが1か月間で考えたこと、実施したアクションを発表
チャレンジごとに 打ち合わせ・アクション	60分	チャレンジごとの自由活動時間



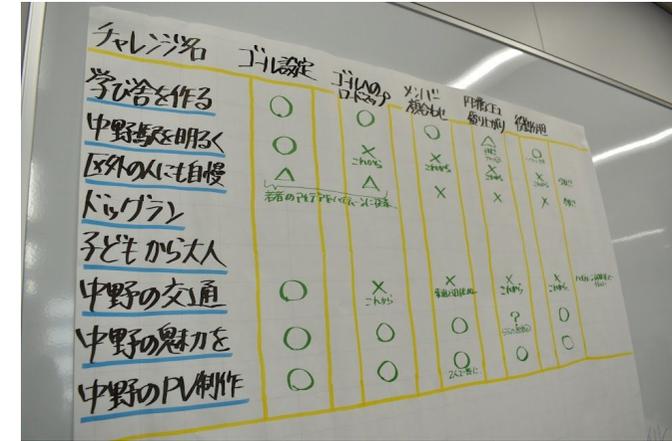
# 実施内容

## #3 チャレンジ中間発表(10月)②



中間発表を通して、自分たちのチャレンジを客観視できました。

また、メンターの若者たちは事前に各チャレンジの状況をチェックし、タスクを整理しました。



今回も3人のゲストをお呼びし、専門知識を生かして各チャレンジにアイデアを授けていただきました。



中野区まちづくり推進部  
中野駅周辺まちづくり担当部長  
松前 友香子さん



NPOカタリバ広報 (日本テレビ休職中)  
加藤 聡さん



中野区教育委員会  
西 敏生さん

# 実施内容

## #3 チャレンジ中間発表(10月)③

▼報告会を意識すると、不安だらけです。  
12月までに何ができるか、真剣に議論。



▼メンターとハイティーンのタッグも深まってきました！



◀ゲストを交えながら、不登校支援の在り方や、中野駅周辺再開発について意見を出し合う。60分の自由時間もあっという間でした。

# 実施内容

## #4 チャレンジ活動日(11月)①

報告会までラストの開催となった11月回です。  
10月同様に各チャレンジの自由活動時間がメインとなり、  
①12月の報告会までの残り1か月の過ごし方を明確に決める  
②区長らとのオンライン意見交換を通して、自分たちの意見の価値を認識することを目指しました。

内容	時間	内容
報告会の説明	10分	「理想のなかの」を区長に伝えるために、残りの期間でどんなことができるかを例示。
全体告知タイム	15分	開催予定のイベント参加呼びかけや、アンケートの回答依頼など、チャレンジからの告知
チャレンジごとに 打ち合わせ・アクション	75分	<p>チャレンジごとの自由活動時間</p> <p>その中で、順番に <b>「子どもの権利の日フォーラム」オンライン登壇。</b> 5分×8グループ。</p> <p>①ハイティーン会議に参加した動機 ②チャレンジごとの活動内容 ③「大人に伝えたいこと」 を区長らに話す。</p>

【日時】11/20 14時～16時  
【場所】中野区役所

中野区 子どもの権利の日フォーラムなかの2022

### 子どもの権利ってなに？

子どもの権利に関する条例を制定した中野区。「子どもの権利」とはどんなものなのか。みんなで学び、子どもにやさしい中野のまちづくりを一緒に考えてみませんか。参加無料。事前申込制。どなたでも参加できます。

**11/20**  
14:00～16:30

**開催方法** ▼どちらかお選びください  
◆会場聴講【定員30名・先着順】  
みらいステップなかの(中央1-41-2)  
10階教育センター研修室  
◆オンライン(ZOOM)配信

**対象**  
子どもの権利に関心のある子どもや大人  
子どもに関する仕事をされている方  
お子さんのいるご家庭 など

**内容**  
第1部 基調講演  
「子どもの権利ってなに？」  
講師 野村 武司 氏  
(中野区子どもの権利教育委員、  
東京経済大学現代法学部教授、弁護士)

元中野区子どもの権利擁護推進審議会  
会長、元西東京市子どもの権利擁護委員、  
豊島区青少年問題協議会会長を務める  
など、自治体における子どもの権利保障  
の取組に携わり、子どもの権利に関する  
様々な領域で活躍している。

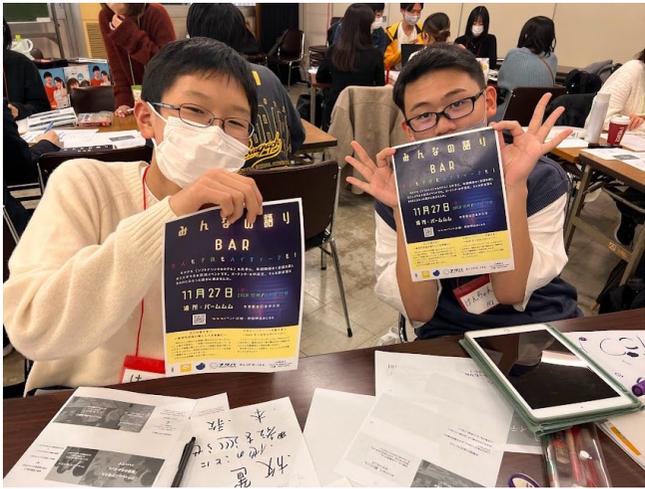
第2部 パネルディスカッション  
「中野区と子どもの権利」



# 実施内容

## #4 チャレンジ活動日(11月)②

この日はオンラインで「子どもの権利の日フォーラム」が別途開催されていたため、ハイティーンたちも自身のチャレンジを中間報告することになりました。自分たちの出番までは、各グループで議論や作業に没頭していました。



▲あと1か月で何をできるか、どんな発表ができるか。そのためには何を必要があるか？議論は尽きない！

▲イベントを実施するチャレンジのメンバーたちは、本番直前の集客準備に大忙しです。

# 実施内容

## #4 チャレンジ活動日(11月)③

フォーラムでは、チャレンジ内容の紹介に加えて「大人に言いたいこと」なども伝えました。「大人から、中高生はどのように見えているのか」などの質問をぶつける場面も。

ラスト1か月のタイミングで、報告会に先駆けて区長と対話できたことで、ハイティーンたちの手ごたえ・意欲は一気に高まりました。



▲「自分たちの想いと大人の考えは、こんなに違いがあるんだと認識できた」という感想も。

### ▼子どもの権利の日フォーラムを終えた感想

区長と実際にお話ができ！(高校1年)  
スケジュール管理について。切実に自分も時間管理をきっちりしたいと思いました。(中学3年)  
区長さんたちからの意見が聞けて、視野が広がった(中学3年)

### ▼「どんな報告会にしたい？」

- ・悔いのない発表
- ・自分たちの意見を率直に伝えられたらいいなと思います。
- ・半年間の活動内容について、中野に対する気持ちを伝える報告会にしたいです。
- ・自分の伝えたいことが伝わるような報告会。
- ・発表側も聞いている側もたのしそうな報告

# 実施内容

## #5 特別編・報告会前日準備

報告会を翌日に控え、チャレンジごとに最終準備を行う1日を設定しました。発表内容確定、発表資料作成、発表練習など、自由に直前準備を進めるうちに、文化祭前のような高揚感が生まれ、本番へのモチベーションも最高潮に達しました。



【日時】12/17 10時ごろ～17時ごろ  
【場所】中野区役所



事務局からはなんの指示もありません。  
それぞれが、午前から  
日が暮れるまで、よく頑張りました！

# 実施内容

## #6 報告会①

ついに、8月から続いたハイティーン会議の最終回、報告会を迎えました。

発表のルールは

- ①中高生自身が資料作成
- ②チャレンジの歩みを5分間で発表
- ③メンターは発表終了後に補足コメントの3つです。

区長や教育長からは、

- ①チャレンジのGood評価ポイント
  - ②チャレンジの発展ポイント
  - ③区長からの「共感」ポイント
  - ④その他もっと質問してみたい点
- を中心にコメントをいただき、ハイティーンとの対話が行われました。

【日時】12/18 10時～17時

【場所】中野区役所 / YouTube配信(事前申し込み制)

【参加者】

酒井直人区長 / 入野貴美子教育長 / 青山鉄兵・文教大学人間科学部准教授

チャレンジ内容に関係する区役所各課

区青少年育成地区委員会・次世代育成委員のみなさま

チャレンジに協力して下さった地域のみなさま

# 実施内容

## #6 報告会②

気づき・学びを得る

ハイティーン会議  
報告会

地域に10代の  
声を届ける

- ・チャレンジの総括、振り返り
- ・気づきの言語化
- ・意見を資料、発表にまとめる経験
- ・発表を聞いた人からのフィードバック

- ・区長と直接対話し、自分の「理想のなかの」を伝えられる実感
- ・地域の視聴者にも「ハイティーン」の力を感じてもらう

内容	時間	内容
発表準備	120分	
チェックイン	15分	
チャレンジ発表	15分 × 8回	発表(5分) ↓ メンターからの補足コメント(1分) ↓ 所管課コメント(2分) ↓ 地域来場者コメント(3分) ↓ 区長対話(4分)

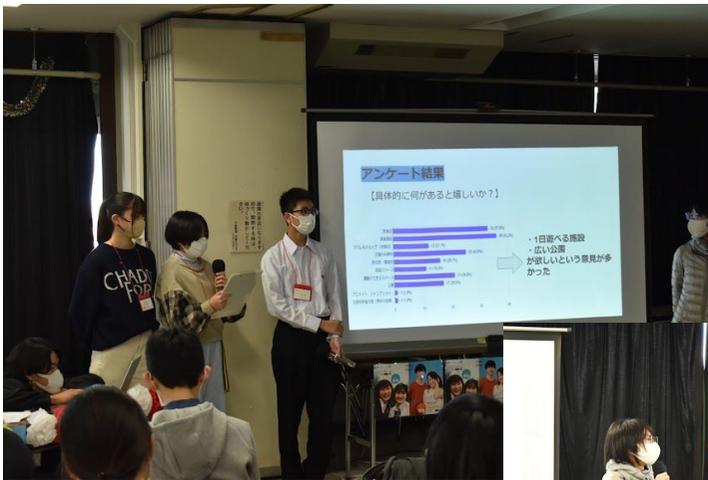
内容	時間	内容
青山准教授、入野教育長講評	5分 × 2回	
区長総評	3分	
チェックアウト	45分	①ワークシート活用した年度振り返り(15分) ②グループシェア(15分) ③全体共有(5分)

# 実施内容

## #6 報告会③

区長からは予想以上にたくさん質問がくる！  
言葉を振り絞って、「理想のなかの」を伝えました。

各チャレンジの報告内容や会場でのやり取りは、  
第2章で詳報します。





## 第2章【チャレンジ詳報】

# 学び舎を作る

8月:  
チャレンジの種を探す

9月:  
チャレンジの表明

10月:  
活動期間

11月:  
活動期間

12月:  
報告会準備

報告会

「学び舎」チャレンジが考えた「理想のなかの」は、  
「不登校の生徒が安心して通えて、いろいろなことを深く学ぶことができるような学び舎をつくる」こと。

➡場所を借りて、まずは単発のイベント形式で実施することを検討しました。



★今日のミーティングまとめ★

※PPTを見ながら確認していただくと分かりやすいと思います！

- ①学び舎は東中野図書館を借りる予定
- ②大学の先生にもお願いして授業をしてもらいたい。  
→大学の先生は人によって忙しいから定期的には難しい＆遅くとも1ヶ月前にはアポを取らないといけない。
- ③明治、帝京平成の大学生に授業してもらいたい。(お給料を渡すか、ボランティアでやってもらうかはまだ決めていない)  
→どうやって学生を集めるのか？  
💡大学の先生や事務にお願ひし、不登校や複雑な状況の子供を救いたい、将来教育関係の仕事に就きたい学生にインターンとして募集を呼びかけるのはどうか(by りさ)

その他意見

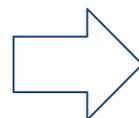
- 💡不登校の子は他人が怖い子中にはいると思うので、全部対面というよりはオンラインでの授業もありだと思ふ(by ひびきさん)
- 💡学び舎を開催する前、もしくは定期的に生徒、先生向けに説明会、講習会を開いても良いと思ふ(by ひびきさん)

具体的な活動に落とし込むため、若者メンターとオンラインでの打ち合わせや、メッセージ上でのやり取りを重ねました。

# 学び舎を作る



でも…  
「学び舎」イベントを無理やり1回やっても続かなければ意味がない。



じゃあ、まずは教育支援室「フリーステップルーム」を利用している小中学生を相手に、「どんな授業だったら参加したい？」のアンケートを実施してみよう

### 3. アンケートの結果

#### Q. どのような場所・ときがいつらいと感じますか？

A. 学校など人が多いところ (中2)  
うるさいところ  
学校で自分の悪口をこっそり言われているとき  
国語の授業の教室

#### Q. 学校に行っていないことで不安に感じることはどんなことですか

A. 将来のことを考えるとき  
何を言われるかわからない不安  
まじかよっそーという気持ち  
学校に行っていないでみんなからどう思われているか  
学習面や学校の先生に迷惑をかけているのでは？という気持ち

#### Q. どんな授業なら行きたいですか？

A. みんなとあまり会わないで受けれる授業  
学校について考える授業 (2)  
数学の楽しさについて (2)  
英語の楽しさについて (2)  
授業より、イベントや部活動に興味がある  
学校自体行きたくない  
大学での学び (文系科目) を体験できる授業

◀結果を眺めて、何が分かるか話し合いました。

一方で…  
アンケート回収の難しさを通して、「不登校の生徒との接点自体が不足している」ことも実感しました。

# 学び舎を作る

8月:  
チャレンジの種を見つける

9月:  
チャレンジの  
表明

10月:  
活動期間

11月:  
活動期間

12月:  
活動期間

報告会

「不登校の当事者が本当に求めている『居場所』の不足」を、区長に指摘。

そして、オンライン併用でのアクティブラーニング型「学び舎」のアイデアを提言しました。



▶地域の方からも、熱のこもった  
コメントが多数寄せられました。

## 中野区に伝えたいこと

いままの中野はカウンセラーや制度は整っているものの、不登校の子が同年代や似たような境遇の子と関わることができる場所は少ない。



**学ぶこと・人と関わることが楽しい**と思うことができる場所を増やしたい。

学びたいのに学ばない気持ちも 本当に水汲んだ研究だったと思わず、  
土日、オンラインで、アクティブラーニングで、と多様な選択肢も  
模索してくれている同世代がいるという事、  
不登校に苦しむ人たちに届けたら、  
起立性障害が学校に行けず、体育から受け付け、隣の英語がわかる  
いや...と、色々理由があって、可憐に対応するのはとても遠い目標ですが、  
「あの日この問題と向き合ってくれた人がいる」という事実が支えにはいると思わず  
自習室も確かに少いです。よく発言してくださいます。

# 犬 & 飼い主交流

8月:  
チャレンジの種を探す

9月:  
チャレンジの表明

10月:  
活動期間

11月:  
活動期間

12月:  
報告会準備

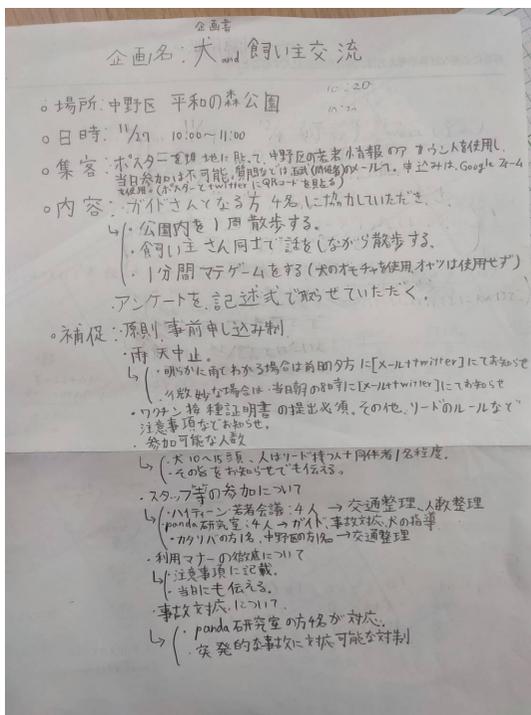
報告会

このチャレンジでは、『自分が住んでいる地域では、犬を散歩させていると色々な知り合いができた。世代を超えて繋がれた』という想いを原点に、  
『中野区でも犬の飼い主のコミュニティを作りたい』と考えたところから出発。

メンバーで話し合い、「中野にドッグランを作りたい」というアイデアが生まれました。

しかし、ドッグランを設置するには、運営負担や場所確保、安全対策や狂犬病対策など、注意点がありません。

そこで、専門家に相談することになりました。ペットの飼育マナー講座や愛護活動を行う「p.a.n.d.a.研究室」のアドバイスを受けながら、「平和の森公園を借りて、飼い主マナー啓発をテーマとした交流イベントを実施する」ことを決めました。



# 犬&飼い主交流

8月:  
チャレンジの種を探す

9月:  
チャレンジの表明

10月:  
活動期間

11月:  
活動期間

12月:  
報告会準備

報告会

## 犬&飼い主交流



日時 : 11月27日(日) 10時から11時  
場所 : 平和の森公園 犬の広場(大型犬用の一部を使用します)

参加費 : 無料

概要 : 飼い主の方々とペットで1分間マテゲームを行います。  
また、皆さんで犬について語り合いながら公園内を散歩します。  
※イベントの詳細は右下のQRコードよりご覧ください。

参加方法 : Googleフォーム(同QRコードより)  
事前申し込み制

イベント主催者 : 中野ハイティーン会議 中高生  
協力 : p.a.n.d.a.研究室



無事成功！！

ドッグラン内のベンチが  
簡素なのでしっかりとし  
たものにしてほしい

どんぐりや木の葉を犬が  
食べてしまうのでそれら  
が少ないといい。

他に室内ドッグランや芝生  
のドッグランがあると良い

### 【イベント実施まで】

- ①イベントの内容決め(参加者が楽しめて、犬を飼っていない地域の方にも応援してもらえるように…！)
- ②ポスター制作、張り出し
- ③イベントの流れ確認
- ④参加者へのアンケート

何度もオンラインMTGを重ねて、形にしていきました。

◀あっという間に当日。手ごたえは…「無事成功！！」(報告会での発表スライドより)

犬のマナーについて語り合ったり、しつけゲームを楽しみながら交流を深めました。

# 犬 & 飼い主交流

8月:  
チャレンジの種を見つける

9月:  
チャレンジの  
表明

10月:  
活動期間

11月:  
活動期間

12月:  
活動期間

報告会

イベント企画、実施で感じたことを区長にしっかり報告！  
途中で離脱してしまった参加者がいたことから、  
「自分たちは飼い主コミュニティを作ろうとしたけど、全員が交流を求めているわけではないことが分かった」  
という学びを言語化。会場も聞き入りました。



## 中野区に伝えたいこと

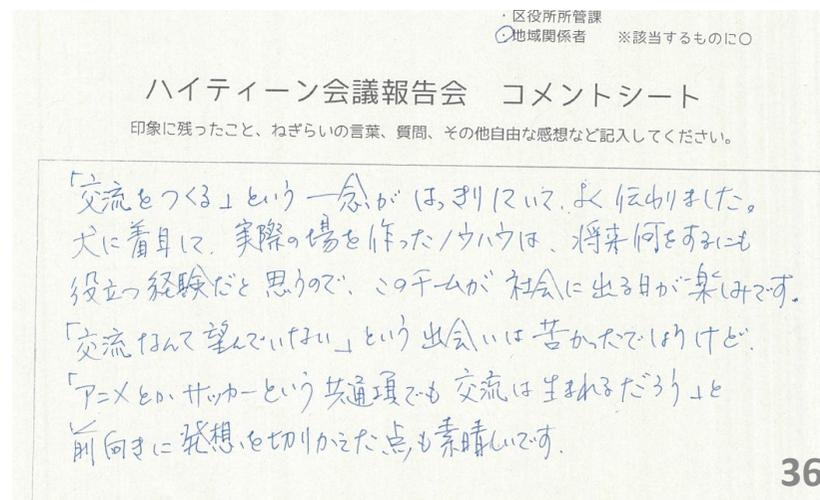
ほかの人に「中野っていい街だな」と  
言ってもらえる街にしたい

⇒ 交流が必要ないと思う人もいる

だけど、人間は好きなことを話すと楽しい！

⇒ 好きなことから交流できるように、交流できる場所  
やイベントをもっともっと増やし、どんどん発信し  
てみてはどうでしょうか！

地域NPOとの協働、趣旨の一貫性、なにより行動力に、多くの  
来場者の方が称賛のコメントをくださいました。



# 中野駅を明るく

8月:  
チャレンジの種を探す

9月:  
チャレンジの表明

10月:  
活動期間

11月:  
活動期間

12月:  
報告会準備

報告会

中野駅周辺を歩いている人は「**下を向いて暗い感じがする**」という意見から出発。「**利用者が交流できるような黒板を設置したりして、駅を明るく、利用者も明るくなってほしい!**」と考えがまとまり、**実際のアクションを検討していきました。**



グループ テーマ	メンバー
中野駅を明るく	
<p>① アイデア</p> <p>私たちにどのような「理想のなかの」は？</p> <p>・中野駅に「誰かでも(描)けるスペース」 黒板のようなものを設置する</p> <hr/> <p>なぜ、そう思う？</p> <p>下を向かずに歩けるように (473も受け取るスペース)</p>	<p>② チャレンジ 10/16(日)、11/20(日)に中間報告</p> <p>誰のために活動する？ (中野区には多様な人が暮らしています。具体的にイメージしてみましょう)</p> <p>中野駅周辺を巡回する方</p> <hr/> <p>そのためにどんなことにチャレンジする？</p> <p>おすすめ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 調査</li> <li>② イベント</li> <li>③ 広報・発信</li> <li>④ 創作・制作</li> <li>⑤ その他オリジナル</li> </ul> <p>① 現状を知る (什么人/何をしているか) (他の駅)</p> <p>② 実際に黒板も設置している所も調べる</p> <p>③ 試しに置いてみる。</p> <hr/> <p>どこで? 誰に協力してもらう? いつ取り組む?</p> <p>中野駅</p>

中野区まちづくり推進部・中野駅周辺まちづくり担当部長にじっくりお話を聞くこともできました。黒板の設置は、場所の使用許可や運用リスクが壁ということも分かりました。

# 中野駅を明るく

8月:  
チャレンジの種を探す

9月:  
チャレンジの表明

10月:  
活動期間

11月:  
活動期間

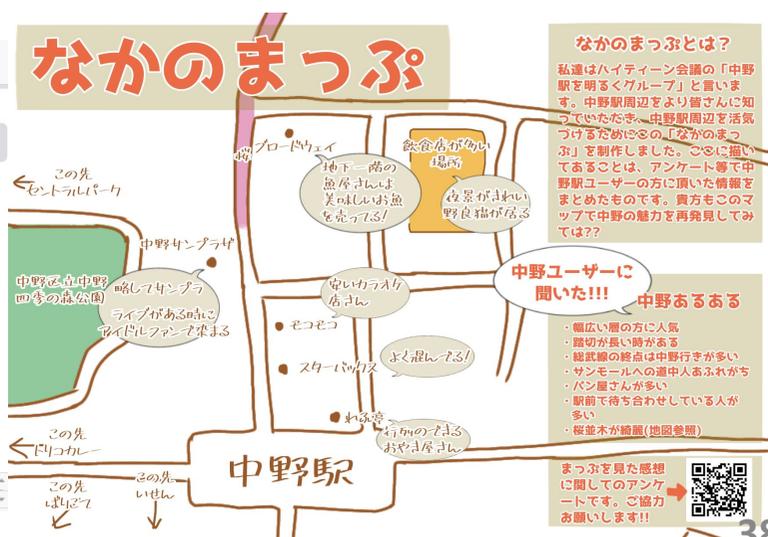
12月:  
報告会準備

報告会

まずはできることから始めます。  
「中野駅利用者が中野をどう考えているのか？」をアンケートで実態調査してみると、  
中高生～社会人の35人から回答が集まりました！

これをもとに、「中野駅を明るくする」ための掲示物を制作。  
企画書も作り、実際に駅前に貼りだしました！

1. あなたの所属を教えてください	2. 中野の自慢できるところを教えてください (美味しいお店、面白かった場所など、何でも構いません)。	3. 「中野あるある」を教えてください。	4. 中野に対して、他に思いや意見がありましたら、自由に記入してください。
中高生	ばりこて	ポーリング行きがち	
大学生	ブロードウェイの中のまんだらけ、セントラルパーク	ご飯屋さんは安くて上手いが鉄則!	中野駅周辺の都市開発で、新たな風が舞い込むと思うけれど、昔ながらの中野の雰囲気も残しながら、程よく新旧の中野が混ざり合う街になってほしい!
社会人	若い人が多い	野方に住んでる人が「高円寺住み」という	
中高生	ブロードウェイ	センバ行きがち	凸凸
中高生	トリコカレー	中野区民だいたい優しい	
中高生	スタバとユニクロがある	おやき屋さんいつも並んでる	
その他	哲学道まで続く桜並木	あとひとときというのが多い!	とにかく前へ進んでほしい。
社会人	都会でありながら、商店街等の地域コミュニティが根付いている。	南中野地区、東中野地区住民は、新宿に出がち。	中野区は、積極的な形で全体的に、子どもから大人まで、未来の為、教育に投資すべき。(全区民の生涯学習も含めて)
社会人	ブロードウェイ、つけ麺	ラーメン屋が多い	
中高生	ブロードウェイとサンプラザ	色んな世代向け	もっと目立ってほしいとおも
社会人	ご飯屋さんとかとにかく美味しい。リーズナブルで、何度も通いたくなる名店がたくさんあります。	自転車でもどこでも行ける	子育て支援充実させて、もっとたくさんのファミリーが中野に来て、活気づけばいいと思います!
社会人	中野通りの桜	中野サンプラザをサンプラザと言い間違える	中野の素朴なところが好きです
	新宿・高円寺・吉祥寺などに行きやすい。もつ煮がおいしい立ち飲み屋がある。ブロードウェイ、diskunionなど、カ	サンプラザに何があるのかよくわかってない。とりあえず	



# 中野駅を明るく

8月:  
チャレンジの種を見つける

9月:  
チャレンジの  
表明

10月:  
活動期間

11月:  
活動期間

12月:  
活動期間

報告会

試行錯誤で生み出したチャレンジに、京都府内での先行事例研究も添えて、報告。  
「精神的に、中野駅周辺を明るくする」という独創性、  
具体的なアクションを諦めない姿勢が、多くの共感を呼びました。



私たちが考えた理想の中野とは

- ①上を向いて歩くような、明るい中野
- ②中野の良いところにみんなが目を向けている
- ③物理的にだけでなく、精神面で明るい中野

ハイティーン会議報告会 コメントシート

印象に残ったこと、ねぎらいの言葉、質問、その他自由な感想など記入してください。

気軽に会話ができる黒板の設置の案はすごくいいなと思いました。その目指している案がおずかしくても、今できること(なかのまっぷ)も全力で取り組んでいる姿がすばらしいなと思いました。

今回は黒板の設置ができなかったけど、いつか黒板が設置されて、中野が明るくなつていくとうれしいです！今回は万が一様でした！心に残る発表でした！

# 区外の人にも自慢できる中野に

8月:  
チャレンジの種を探す

9月:  
チャレンジの表明

10月:  
活動期間

11月:  
活動期間

12月:  
報告会準備

報告会

このチャレンジの背景には、  
区外の知り合いと話す時、「中野には何もない」と言いがちなというハイティーン目線の課題がありました。  
そこで、人に自慢できる中野をつくりたい！という理想を決め、話し合いが始まりました。



【チャレンジ名】

中野駅を明るく

【このプロジェクトに取り組もうと決めた理由】

自分の中で 中野と中野駅 のイメージが強く、駅を明るくしたい。

でも…

【チャレンジ名】

中野駅を明るくするには、

【このプロジェクトに取り組もうと決めた理由】

自分が普段の7ミズであらう歌を新しいものにした。

「扱うテーマが広くて  
何をすればいいかわからない」!



# 区外の人にも自慢できる中野に

8月:  
チャレンジの種を探す

9月:  
チャレンジの表明

10月:  
活動期間

11月:  
活動期間

12月:  
報告会準備

報告会

オンラインでの話し合いを重ね…  
「シンボル」となりうる独自の魅力を探る必要性に気付きました。

中野駅周辺の再開発事業が進んでいることに関連し、  
区民(特に中高生)を対象に「中野区に新たに欲しいもの」アンケートを実施しました。

5. 中野の強みはどんなところだと思いますか？

回答を入力

6. 中野の弱みはどんなところだと思いますか？

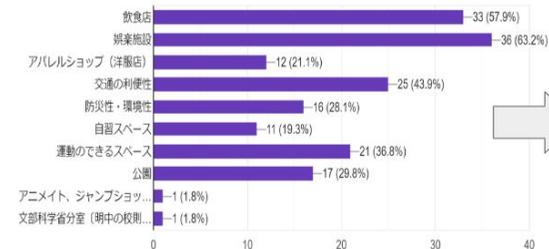
回答を入力

7. 中野駅前エリアでの再開発が進んでいます。これから新しく生まれ変わる中野駅周辺に、あなたが重視して欲しい要素や、取り入れて欲しい施設にはどんなものがありますか？(複数選択可)

- 飲食店
- 娯楽施設
- アパレルショップ(洋服店)
- 交通の利便性
- 防災性・環境性
- 自習スペース

## アンケート結果

【具体的に何があると嬉しいか？】



・1日遊べる施設  
・広い公園  
が欲しいという意見が多かった

▶結果、中高生52人、社会人7人から回答が。  
「中高生にとっての居場所が少ない」という  
課題が見えてきました。

# 区外の人にも自慢できる中野に



報告会では、区民の声から見えた「再開発のアイデア」を区長に伝えました。  
「中高生が行きたくなる店って？」  
「うーん、ラウンドワンみたいな商業娯楽施設かな」  
といったやり取りも盛り上がり、具体的な意見を表明できた発表でした。

## 対策

### ① 駅前をより良く

- ・デモスペースを作る
- ・電柱の埋め立て

→ 治安の向上に繋がる

### ② 交通性の向上

- ・自転車置き場の増築
- ・道幅を広く

## 対策

### ③ 景観や環境

#### 【課題】

- ・駅周りが汚い
- ・緑の量が23区ワースト2位
- ・桜の多さを生かしていない



#### 【そのためには】

- ・清潔感を大切に  
→ 鳩のフンを無くす
- ・緑を多くする
- ・桜を生かしてイベントを

## 対策

### ④ 再開発への展望

- ・一般入場できる展望台を作る
- ・洋服屋、飲食店などの商業施設  
→ 中高生が行きやすいお店の導入

### ハイティーン会議報告会 コメントシート

印象に残ったこと、ねぎらいの言葉、質問、その他自由な感想など記入してください。

中高生がよく行く 新宿、渋谷、あおまちと中野の差別化や中野の独自性を打ち出していくという提案はすばらしいと思う。何が中野として独自性なのか、というは一言では言いあらわせないかもしれないが、中高生の志向にあった遊び場や洋服屋など、運動できるバスケットコート、フードコートなど 具体的にいい提案だった。



# 子どもから大人まで自由に話せる場 みんなの語りBAR

8月:  
チャレンジの種を探す

9月:  
チャレンジの表明

10月:  
活動期間

11月:  
活動期間

12月:  
報告会準備

報告会

このチャレンジは、ハイティーン・若者それぞれの意見が一致して立ち上がりました。

「大人と違って、中高生は気軽に自分の意見を話せる相手と場所が無い」

「より若い世代など、多世代交流ができる場所を作りたい」

異なる立場でも似た思いを持っていることに感銘を受けつつ、アイデアの具体化を進めました。



でも、「どうしたらそんな場を作れるのか？」と悩みます。  
そんなとき、若者から「中野には多くの飲食店があり、そこではいろいろな大人が交流している」と教えてもらい、「じゃあ、中野の資源（魅力）である地域に根付いた飲食店を会場にして多世代交流を図るイベントを開催してみよう！」  
と考えがまとまりました。

そして若者メンターのつながりを生かし、  
協力してくれる飲食店を  
見つけることができました！

# 子どもから大人まで自由に話せる場 みんなの語りBAR

8月:  
チャレンジの種を探す

9月:  
チャレンジの表明

10月:  
活動期間

11月:  
活動期間

12月:  
報告会準備

報告会

イベントの概要は決まっても、検討すべきポイントは盛りだくさんでした。

## ▼メニューをどうするか

「モクテル」(ソフトドリンクのカクテル)を作ってみることに。提供スピード、種類の豊富さ、オリジナリティ…悩みながらメニューを考案しました！

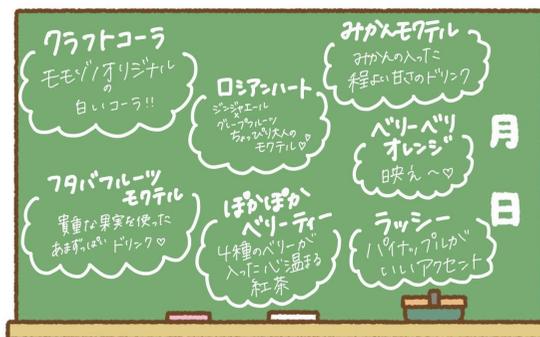
## ▼集客をどうするか

オリジナルのチラシを作り、中野区の「区民のひろば」という掲示板に貼りだしました！

## ▼より多くの地域の大人を仲間にしたい

ハイティーン、若者が力を合わせて協力先を探し、自ら足を運んで交渉。

結果、4社から協賛をいただきました！



「どんな地域の人に協力してもらったのか？」

〈協賛〉



今回の企画の開催場所を提供

4LIFE.inc

私たちが当日着るユニフォームの提供(トレーナー)



クラフトコーラシロップの提供(今回出したモクテルの一つ)

# 子どもから大人まで自由に話せる場 みんなの語りBAR

8月:  
チャレンジの種を見つける

9月:  
チャレンジの  
表明

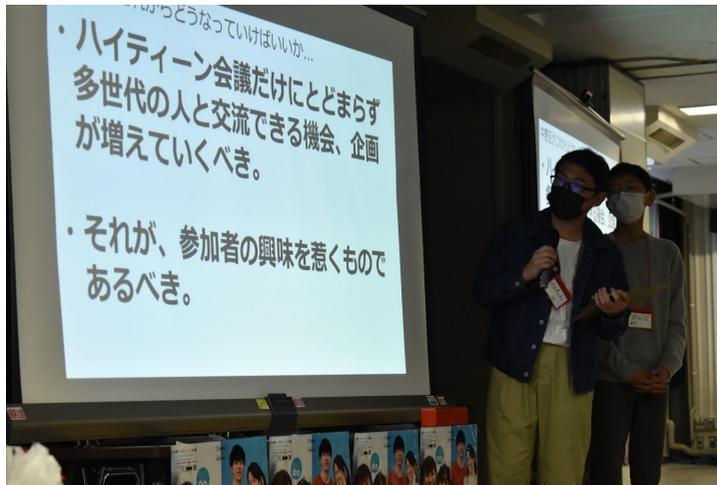
10月:  
活動期間

11月:  
活動期間

12月:  
活動期間

報告会

多くの協力者を得て、無事にイベントは成功。  
参加者23人は10代～60代と、狙い通りの多世代交流が実現できました。  
参加者へのアンケートから、交流を求める区民の多さを可視化し、報告会で発表しました。



## ハイティーン会議報告会 コメントシート

印象に残ったこと、ねぎらいの言葉、質問、その他自由な感想など記入してください。

大人も子どもハイティーンも! みんな語りBAR というネーミングも良い!!  
多世代交流の場として BAR を選んだのも良い!と思いました。 ] 多世代・場・企画  
の関係の中で大切だね  
10~60代 互いの力、コラボ (SNS発信)、お店や地域の方で積極的に協力してこと等  
アテと 実践力で素晴らしいと思えました。人と大切に大人が大切にしたい。等  
バーテンダーとして接客はやりがいある経験は本当に貴重だと思えました。  
これ 大変だったと思う。素晴らしいと思いました!!  
おかげさまでいいです。

COPYRIGHT 2022 認定特定非営利活動法人カタリバ

報告会でもひととき大きな反響があったチャレンジです。  
区長も「飲食店が中野の特徴であることは間違いない」とうなずいていました。

# 中野の交通マナー

8月:  
チャレンジの種を探す

9月:  
チャレンジの表明

10月:  
活動期間

11月:  
活動期間

12月:  
報告会準備

報告会

3人のメンバーそれぞれが、中野の交通マナー、特に自転車の通行に課題感を持っていました。

①通学路で自転車が危ない

②小学校の頃、登下校中に自転車がいきなり横切ってきて危険を感じた

③中野の交通(自転車の使い方、歩きたばこ)に課題を感じた

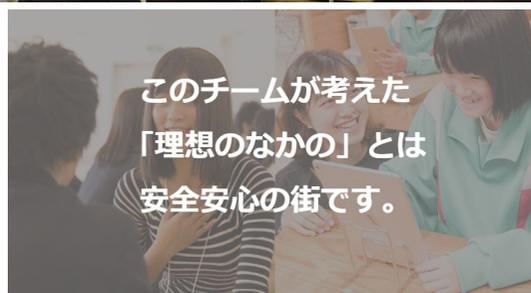
「自転車も歩行者も気持ちよく通れるルールを作りたい」と、活動に臨みました。



まずは、  
「中野区の交通マナーについて、ほかの区民はどう感じているのだろう？」

という疑問に向き合うことに。

幅広い世代の区民に対しアンケートを実施することにしました。



# 中野の交通マナー

8月:  
チャレンジの種を探す

9月:  
チャレンジの表明

10月:  
活動期間

11月:  
活動期間

12月:  
報告会準備

報告会

アンケート内容は、

- ・中野区の交通に危険と感ずることや、不満がある場所がありますか？
- ・あなたが考える、中野区の新しき交通ルール案を教えてください。

といったもの。

集まった26人からの回答を分析すると、質問では自転車という言葉を使っていないのに、19人が自転車に対する不満・危険を指摘していました。

30代 保護者 中野通り沿いの歩道  
中野通りは人・自転車・車の通りが多いが、歩道が狭い。未就学児を連れて歩道を歩くときは全方位に向けて常に注意を払わねばならず、危険を感ずる。

30代 社会人 中野通り  
自転車が歩道を走っていて、歩きにくい。

20代 社会人 歩道  
歩きタバコをしている人がいてぶつかりそうになる。

20代 社会人 駅前の路上駐輪が大迷惑  
放置自転車を避けつつ、歩行者とのすれ違いで思わぬ怪我をしかねない

30代 社会人  
道の広さに関わらず、大人の自転車横切りや歩行者の横切りが多い。  
朝の送迎の時間(学校や保育園)街中での自転車のスピードとても早いので曲がり角などはかなり慎重にしているがそれでもヒヤリとする事がある。朝の交通整理はもっと充実すると安心なのか？と思うことがある。

## アンケート結果考察

・アンケートでは中野区の交通に危険と感ずることや、不満がある場所がありますか？と質問を投げかけたが、26名中19名が自転車について回答しており中野の交通課題は自転車にあると感ずりました。

・歩行者、自転車、自動車の走る場所を分けている場所がある中で中野はまだ歩道を走る自転車が多いと感ずています。

・歩きたばこだけでなく都の条例としては禁止されている路上喫煙も多いと感ずます。

・自転車違法駐輪の撤去手数料は5000円とほかの区よりも高く設定されているが、駅前の路上駐輪が無くならないのはなぜか。→手数料を5000円からあげた方がいいと考えます。

# 中野の交通マナー

8月:  
チャレンジの種を見つける

9月:  
チャレンジの  
表明

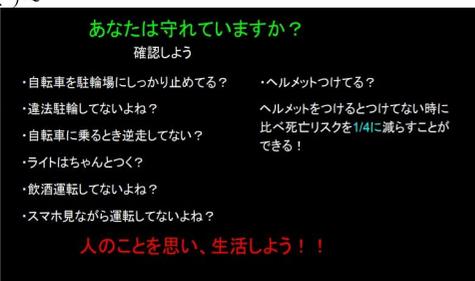
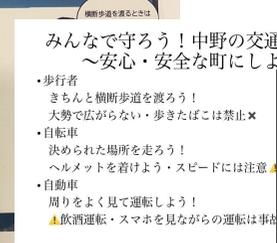
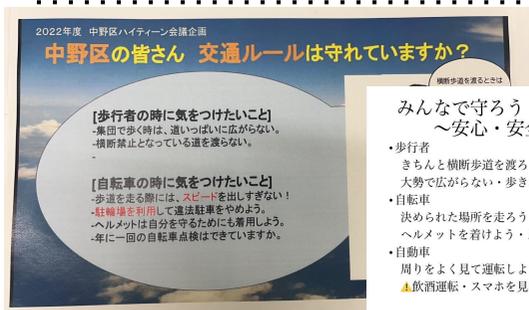
10月:  
活動期間

11月:  
活動期間

12月:  
活動期間

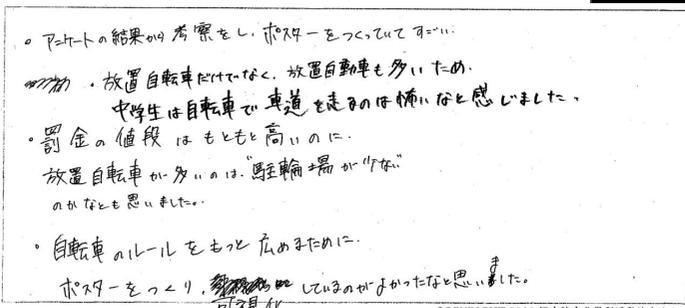
報告会

アンケートで課題を明確にしたうえで、  
メンバー3人がそれぞれ、若者のサポートを受けながら交通マナー啓発ポスターを作成。  
報告会では、区長とともに「●●駅のあそこの違法駐輪、なんとかしないとね」と意気投合していました。



## ハイティーン会議報告会 コメントシート

印象に残ったこと、ねぎらいの言葉、質問、その他自由な感想など記入してください



身近なテーマだけに、報告を聞いた他のハイティーンや若者、地域の方からは多くの共感が寄せられました。

# 中野の魅力発信

8月:  
チャレンジの種を探す

9月:  
チャレンジの表明

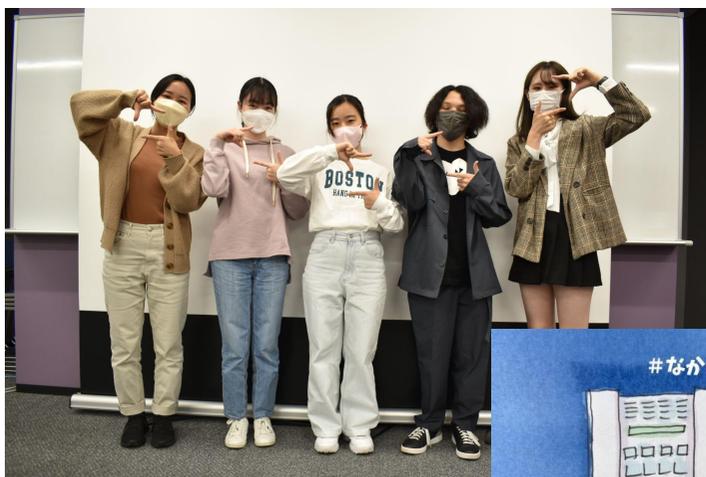
10月:  
活動期間

11月:  
活動期間

12月:  
報告会準備

報告会

「中野の魅力をもっと発信したい！」と集まったメンバーたち。  
届ける対象は区外なのか？それとも区内なのか？議論を交わし、  
「区内中高生が地元の魅力を再発見するメディアをつくる」ことになりました。  
まずはInstagramアカウントを即座に開設！



グループ テーマ	中野の魅力を発信する!!		メンバー
①アイデア	②チャレンジ 10/16(日)、11/20(日)に中間報告		
私たちにっての「理想のなかの」とは？	誰のために活動する？（中野区には多様な人が暮らしています。具体的にイメージしてみましょう）		
区に住んでいる若者を中心に多くの人を魅了する中野。	若者(10代、20代)、区外の人 Z世代		
	そのためにどんなことにチャレンジする？		
なぜ、そう思う？	おすすめ ①調査 ②イベント ③広報・発信 ④創作・制作 ⑤その他オリジナル		
中野区に住んでいる若者は他の年代と比べて地域活動や地元に関心度が低い(あくまで私の予想)なので若者にもっと中野を知ってもらい、住んで良かったと感じてほしい。またそのような取り組みを行う中で区外の人にも関心をもってもらい、「行ってみたい」「住んでみたい」と思うような中野になってほしい。	①調査・中野がすでにしている広報活動の調査、分析をする。(インターネットや本で)中野の地域活動への若者の関心度(中野区広報担当) ③広報・発信・調査の結果をもとに中野区に伝えたい提案も考え実際に行動ある。 ↳ Instagram 開設 [目的]若者に中野の良さを再認識してもらう。 年代別でも可		
	どこで？	誰に協力してもらおう？	いつ取り組む？
	・犬-ム ・施設を借りる	・X-9-や若者の皆さん ・中野区の広報を担当して下さっている方	

# 中野の魅力発信

8月:  
チャレンジの種を探す

9月:  
チャレンジの表明

10月:  
活動期間

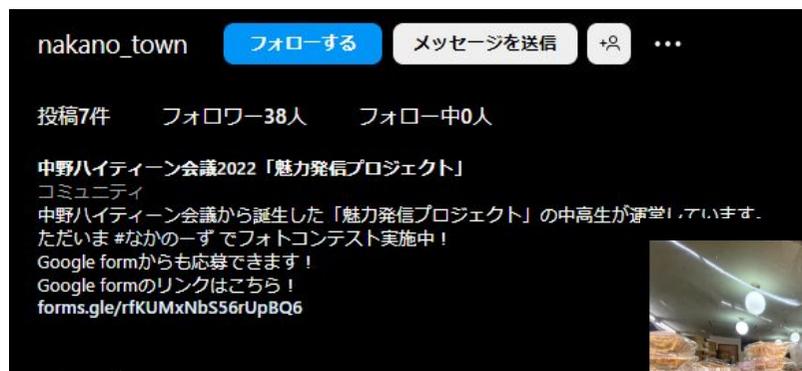
11月:  
活動期間

12月:  
報告会準備

報告会

## 活動①

メンバーそれぞれが写真・文章を用意し、中野のグルメをInstagramに投稿しました。



## 活動②

さらに多くの人を巻き込むため、中野の魅力を伝えるフォトコンテストを開催しました。「#なかのーず」ハッシュタグをつけてInstagramに投稿するだけのお手軽コンテストでした！



# 中野の魅力発信

8月:  
チャレンジの種を見つける

9月:  
チャレンジの  
表明

10月:  
活動期間

11月:  
活動期間

12月:  
活動期間

報告会

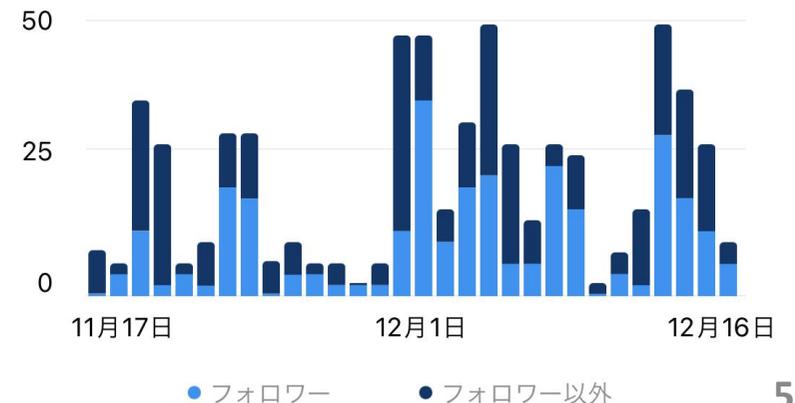
フォトコンテストには合計19件の作品が集まりました。  
人、風景、グルメなど、中野区の多様な魅力が満載です！



## Instagram実績

アカウント名 nakano\_town  
フォロワー数 32フォロワー  
投稿数 4投稿  
アカウント開設期間 約1か月間

過去30日間に168件のアカウントにリーチしました  
フォロワー以外のユーザー144人



### ハイティーン会議報告会 コメントシート

印象に残ったこと、ねぎらいの言葉、質問、その他自由な感想など記入してください。

「同じ中野に住む人々でも、それぞれの思う中野が違う」  
印象に残りました。

企画を進める上で出てきた課題に対し、「どうしたら目標を実現  
できるか」→試行錯誤しながら進めていくこと、最後まで諦めないこと  
とても大切だと感じました。

私の最寄り駅は鷲ノ宮なのですが、紹介されていたカフェは知りませんでした。  
今度行ってみたいと思います。

# 中野の美味しいPVをつくる

8月:  
チャレンジの種を探す

9月:  
チャレンジの表明

10月:  
活動期間

11月:  
活動期間

12月:  
報告会準備

報告会

「地域のプロモーション映像には、若い世代の意見が反映されていないように思える」

「中高生の目線から、中野の魅力を伝える動画をつくりたい！」

という若者会議メンバーからの呼びかけに対し、高校生が応えてチーム結成に至りました。映像制作のノウハウを一から学びながら、二人三脚でオリジナルのPVを作っていました。



▶大手TV局で映像制作の経験を持つゲストからのアドバイスを受ける様子。

# 中野の美味しいPVをつくる

8月:  
チャレンジの種を探す

9月:  
チャレンジの表明

10月:  
活動期間

11月:  
活動期間

12月:  
報告会準備

報告会

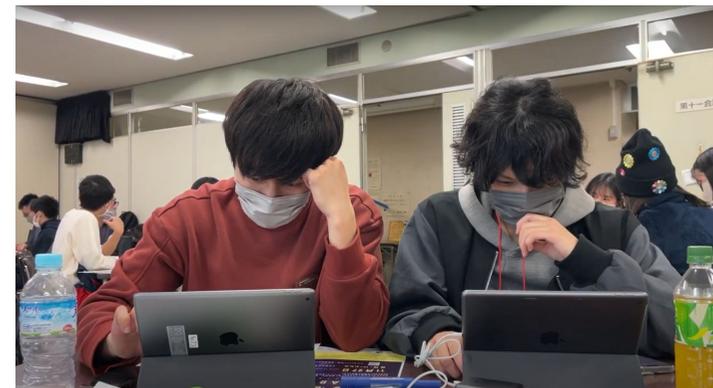
## 活動①

中野駅前で、食べ歩きの様子を撮影。  
人気店など、全部で10箇所以上の  
スポットで同意を得て撮影しました。



## 活動②

「高校生の放課後」をテーマに、  
5分間の映像を編集しました。  
素材の選定や、テロップなど、  
思ったよりも時間がかかりました。







## 第3章【感想】

# 参加したハイティーン感想

## ハイティーン会議の経験を、明日からの自分にどう生かせる？

当初は少しイベントに消極的な自分がいたが、企画を諦めずに進めていった結果、実行でき、楽しいイベントになった。  
 ・一度は全力でやってみる  
 ・やってみれば意外とできることはある。

### ハイティーン会議に参加した理由

後輩の話を聞き、中野区と良い関係が築けるのではと。

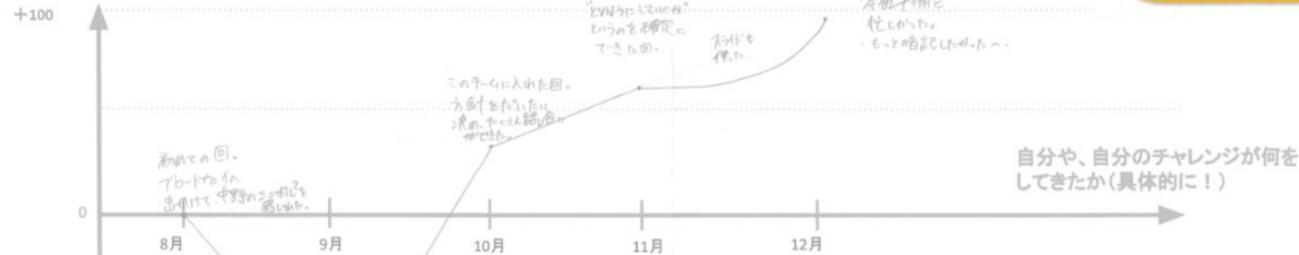
### 【チャレンジ名】

区外の人に自慢の中野のプロジェクトを通り、自らが住んでいる中野

## どういうときに「手ごたえ」を感じられた？

- ・ 実際には3リツカさんにお会いして、協賛をもらえたとき
- ・ パームさんに事前にうかがってドリンクをしようとして、試みに作ったとき
- ・ 企画当日たくさんの人と自分からしゃべれたとき

### 「中野区への手ごたえ」



報告会後の「振り返り」ワークでは、ハイティーンたちがそれぞれの学びや感想を言語化。多くの手ごたえ、経験が寄せられました。

## ハイティーン会議の経験を、明日からの自分にどう生かせる？

今回ハイティーン会議に参加して自分自身の成長につなげることで、とても良い経験ができました。リーダーとして会議で話し合うことを事前に考えたりマネジメントしたり、そしてグループとして「発信」の難しさを痛感した。今回得られた貴重な経験を学校や将来に生かしていきたい。

## ハイティーン会議の経験を、明日からの自分にどう生かせる？

新たな発見をし、行動に移したり、と。思えず、実行。同じにはサポートしてあげよう。方向が正しくいって、そこには自信を対して、自分の意見を発言していきなさいと思えました。

## どういうときに「手ごたえ」を感じられた？

初参加の日は、7月14日7-7まで、中野から中野区へ行くことができた。楽しいイベントができた。

## 参加したハイティーンの感想

会議終了後のアンケートより抜粋  
※平均満足度 9.26/10

区長と実際にお話する機会は滅多にないのに、自分のチャレンジについて一緒に対話ができ嬉しかったです！！

最初のフィールドワークで中野区の現状を見ることができてよかったなと思った。毎時間、自分の意見をきちんと言え、色々な人と意見交流ができて楽しかったです！

問題提起から解決のプロセスまで自分たちでやり発表することは日々の日常や学校生活でも活かせると思った。

イベントの開催にあたって、自分の意見を自分の言葉で相手に伝えることを意識することができました。

意見がまとまらなかったり、議論が止まったりしたときに、若者の皆さんが体験談やアドバイスなどを伝えてくれて、とてもありがたかったです。  
自分も助け舟を出せるような人になりたいなと思いました。

## メンターを務めた若者の感想

地域の協力者探しやアイデアの具体化など  
ハイティーンたちのチャレンジに  
若者の存在は不可欠でした。

ハイティーンのメンターをすることによって、見えてくるものがあると確信した。

ハイティーンの成長や経験に良いインパクトだったと感じました。ハイティーンと若者が一緒に活動する意義はあったと感じました。

過去のハイティーン会議以上に、  
具体性と密度のあるチャレンジ  
だったと思います。

他のチャレンジも含めてすべて面白く、  
発表会は新しい発見やワクワクや感動  
がありました。

若者とハイティーンが世代間を越えて交流  
したり活動できる組織体制や場をこれから  
も続けられるといいなと思いました。

ハイティーンのメンターをすることによってただ調べて発表ではなく、実際のアクションに繋げるという方針はすごく良かったと思う。

## 報告会を聞いた地域の方の感想

報告会を通して、地域の方から届いた感想の一部を紹介します。

各グループがどうしてそのテーマにしたのか、テーマに対しての行動、行動して見えたことや考察、すべてが素晴らしく大人が刺激を受ける内容でした。

今年は身近なテーマを1サイクル回し、次につながる形の発表が多く、つながりを作る難しさ、形にする難しさほか、試行錯誤しながらGOALまで辿り着く過程を周囲が見守り支えている様子が垣間見れ、とても良かったです。お疲れ様でした。

やってみて難しいこともあったと思いますが、やってみた/乗り越えたことによる充実感のようなものがしっかりと伝わってきました。

また、単に参加者が自己満足するのではなく、各プロジェクトの中に“区民”や中野に集まる“人”の存在を感じられ、人と人の交差の先に中野の未来があるように感じました。

地域の課題解決やまちづくりは大人だけで話し合っただけで決めるやり方になりがちですが、若い皆さんの視点や気づき、アイデア、つながる力に触れて、今後の新しい在り方が示されたのではないのでしょうか。

区長や区の担当課職員が集まって直接発表を聞き、質疑応答のキャッチボールがある形式もとてもいいですね。ハイティーン会議の取り組みの成果を大人が大事にして、きちんと生かそうとしていると感じられました。

中野ハイティーン会議は、  
これからも10代のチャレンジを応援していきます！



最後までお読みいただき  
ありがとうございました！

A photograph of a construction site in an urban setting. Two large tower cranes with red and white lattice structures are prominent in the foreground. Behind them, a multi-story building is under construction, with its steel frame visible. The sky is a clear, bright blue. In the background, other city buildings are visible, including one with a red and white sign that says "大同生命".

## 2022年度中野ハイティーン会議報告書

作成：認定NPO法人カタリバ  
中野区子ども教育部 育成活動推進課 若者活動支援係